

2.4
GHz

対象年齢
8才以上

キャリングドローン CD01

キャリングドローン
CARRYING DRONE

web取扱説明書

Ver.1.0 2024/8/10

ご購入のお客様へ

このweb取扱説明書をいつでも見直せるように、
ブックマーク登録やお気に入りへの追加をお勧めします。

※ブックマーク登録やお気に入りへの追加は、お使いのデバイス
(スマートフォンやPC)の操作方法に従って操作してください。

警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意(ちゅうい)

●WEB取扱説明書を必ずお読みください。●電池の交換・充電は保護者の方が行い、保護者のもとで遊ばせてください。《リチウムイオン電池を誤使用すると発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。下記に注意してください。》

●充電済みのリチウムイオン電池への再充電は、絶対にしないでください。過充電になり危険です。●飛行後、再充電するときは必ず15分以上の時間を置いてください。●長期保管の際は、リチウムイオン電池を満充電にしてください。

《電池を誤使用すると発熱・破裂・液もれなどの恐れがあります。下記に注意してください。》

●乾電池は古い電池と新しい電池、指定の電池以外の電池を使わないでください。●+- (プラスマイナス)を正しくセットしてください。●ショートさせると大電流が流れ危険です。水や火の中に入れて、加熱や分解・改造 ハンダ付けなどをしないでください。●水にぬれたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。●火の近く、高温多湿になる場所、車中での使用、充電、保管はしないでください。●万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。●使用後は、必ず本体とコントローラーの電源スイッチをOFFにして、電池をはずしてください。●廃棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。

《思わぬ事故、ケガの原因になります。下記に注意してください。》

●対象年齢未満のお様が近くにいるところで使用しないでください。また、対年齢未満のお子様には使用させないでください。●使用前に必ず本体とコントローラーに破損しているところがないか確認してください。破損したまま使用すると、さらなる破損、ケガをするおそれがあります。●操作中はプロペラなど本体に触れないでください。●本体の隙間、穴には指などを入れないでください。●プロペラなどの可動部分に指や髪の毛、衣服などをまきこまれないように注意してください。●ぶつかけたり、ふりまわすなどの乱暴な扱いをしないでください。●先端や縁部に鋭い箇所がありますので、注意してください。●室内で飛行させる場合は、ガラスや家具等の破損に注意してください。●LEDの光の点滅を見続けしないでください。気分が悪くなったりするおそれがあります。●壁にぶつかったり、糸くず等を巻き込んだりして止まった場合はすぐにスイッチを切ってください。●モーターを無理に止めないでください。モーターや電池が熱くなり火傷をする危険があります。



くちにいけない



おとなといっしょ



ひにちがつけない

使用上の注意

●本商品は精密な電子部品で構成されています。落としたり、水にぬらしたり、汚したり、分解したりしないでください。また、高温・低温になる所での使用、保管はさけてください。●透明トレイは梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。●本商品を樹脂製のソファやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。●可動部分・取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。●同じ周波数の電波が近くで発信されているときは、本体のコントロールが出来ない場合があります。故障ではありませんので、違う場所にてご使用ください。

電波使用について

●本商品の使用周波数は2.4GHz帯です。●本商品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設置として工事設計認証を受けた部品を使用しています。したがって、本商品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。●日本国内のみで使用してください。●日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。●法律で罰せられることがありますので、本商品を分解・改造することは絶対にしないでください。●万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本商品の使用を中止(電波の発射を停止)し、本商品の使用場所を変えてください。

2.4GHz 技術基準適合認定済み。詳しくはwebサイトをご覧ください。
FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY 日本電波法にのみ対応

<https://www.happinettoys.com>

ドローンを遊ぶときの注意【重要】

- ❗ 墜落や衝突による破損、水没、紛失、ケガには十分注意してください。
- ❗ 墜落や衝突によるドローン本体の破損はお客様負担となります。
- ❗ 墜落や衝突によって発生した破損、事故、ケガ、トラブルについては当社は一切の責任を負いません。

飛行禁止区域

ドローン本体は100g未満の無人航空機ですが、以下の区域は法令によって飛行が禁止されています。

- 空港周辺 ● 緊急用務空域 ● 150m以上の上空 ● 人口密集地区(屋外)
- 国の重要施設等の周辺 ● 外国公館の周辺 ● 防衛関係施設の周辺 ● 原子力事業所の周辺

これらを反した場合は操縦者に懲役又は罰金が課せられます。また、自治体の条例によっては一部の公園も飛行禁止となっています。自治体の条例は自治体ごとに異なるため、必ずご自身でお問い合わせください。

屋内で飛行するときの注意

- 高いところから墜落すると破損することがあります。操作に慣れるまでは必ず床に近い低い位置で練習してください。
- 壊れやすい物の近くでは操作しないでください。
- 商品が小さいため、エアコンや扇風機の風の影響を受けることがあります。
- 人やペットに衝突しないように注意して操作してください。

屋外で飛行するときの注意

飛行禁止区域や自治体の条例をよく調べたうえで遊ぶようにしてください。危険ですので、車、鉄道、送電線がある場所では遊ばないようにしてください。川、湖、海などで遊ぶ時は思わぬトラブルで回収できなくなる可能性があります。十分ご注意ください。

ドローン本体の特性上の注意

- プロペラは高速で回転するため、目などにあたると失明などの危険性があります。また、指や髪の毛、衣服が巻き込まれないように注意してください。
- ドローン本体は2.4GHz周波数帯を使用しています。2.4GHz周波数は外部の環境によって、電波干渉が起これ、うまく操作できなくなる場合があります。ご家庭の電子レンジや大型テレビ、無線LAN(Wi-Fi等)といった電磁波を有する機器のすぐ近くの場合、電波と混線し、突然止まったり、動いたりすることがあります。そのような場合は、ドローン本体とコントローラーの両方の電源をいったん切り、場所を変えてから、ドローン本体とコントローラーの電源を再度入れ直してください。

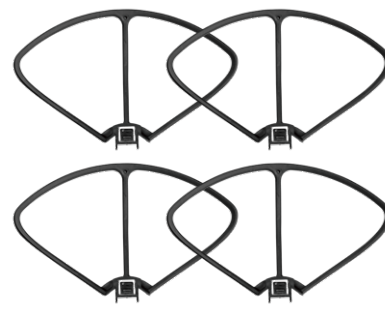
セット内容



コントローラー×1個



ドローン本体×1台



プロペラガード×4個



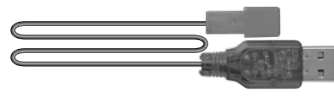
ランディングギア×2個



キャリングパレット×1個



リチウムイオン充電電池×1個



専用USB充電ケーブル×1本



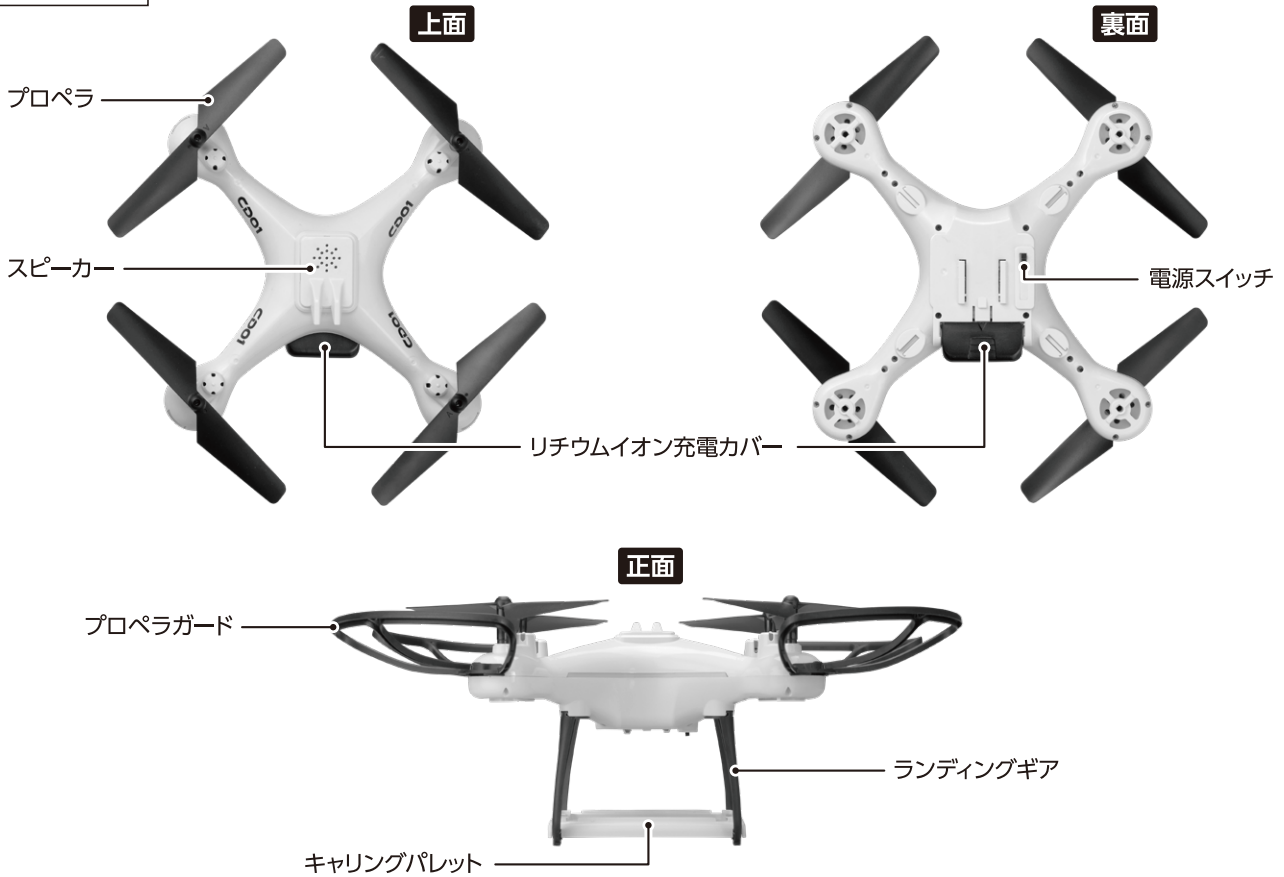
予備プロペラ×4枚

※プロペラには「A」「B」と記載されています。

■リチウムイオン充電電池返信用封筒×1セット

各部名称

ドローン本体



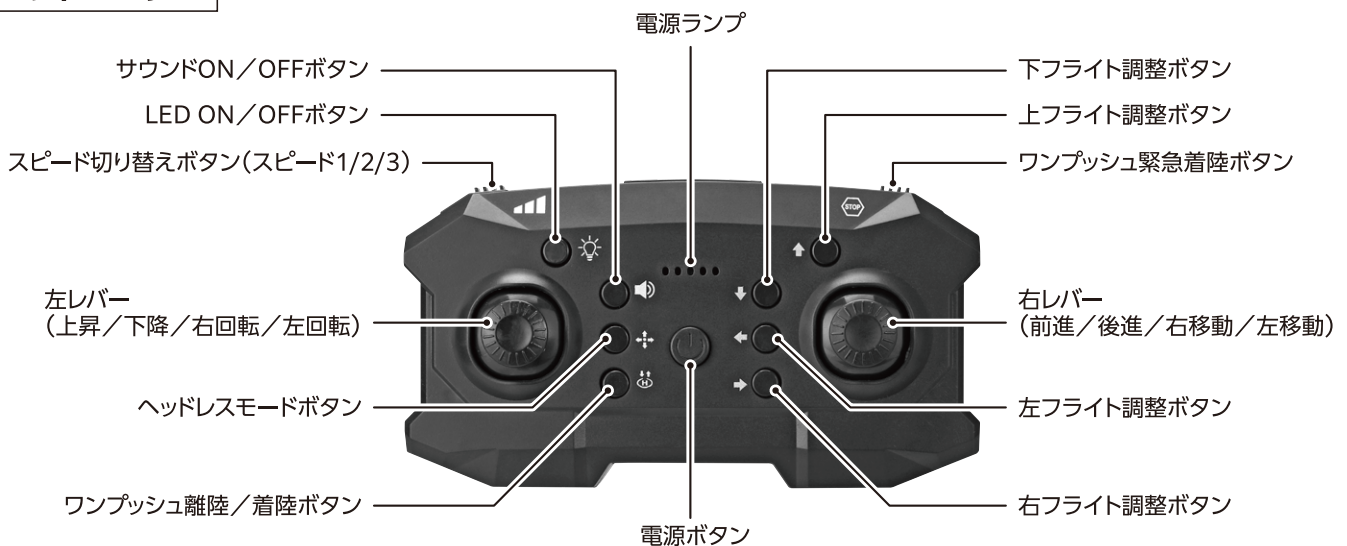
気圧センサー

内蔵された気圧センサーで、機体周辺の気圧を感知し、床から約1mの高度を自動的に保ちます。

ジャイロセンサー

内蔵されたジャイロセンサーで、機体の角度を感知し、自動的に正しい角度に保ちます。

コントローラー



デジタルプロポーションナル操作

コントローラーのレバーを倒す角度に応じて、プロペラの回転速度が細かく変化します。レバーを弱く倒すと、「キャリングドローンCD01」もゆっくり動きます。

仕様

本体

- 使用電池：リチウムイオン充電電池
 - ・連続操作時間：約6分(満充電使用時)
 - ・充電時間：約50分

※飛行時間、使用時間は目安です。
使用環境、操作方法によって異なります。

リチウムイオン充電電池は特性上、充放電に回数制限があります。「キャリングドローン CD01」のリチウムイオン充電電池は約100回が充放電の回数制限となります。充電の回数が100回を超えると満充電時に使用できる時間が少しずつ短くなっていきます。一例：約200回繰り返して充電した場合、新品購入時の約50%となります。

- 周波数:2.4GHz ■気圧センサー内蔵 ■ジャイロセンサー内蔵
- デジタルプロポーション操作 ■操作距離:約20m
- 性能:ワンプッシュ離着陸、上昇、下降、緊急停止、前後左右移動、左右回転、三段階スピード切替、ヘッドレスモード、フライト調整、LEDオン/オフ、サウンドオン/オフ

コントローラー

- 使用電池：単3乾電池3本専用(別売り)
- 通常動作時間：約8時間(新品アルカリ乾電池使用時)

※コントローラーにはアルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池、二次電池は使用しないでください。正常に動作しない恐れがあります。

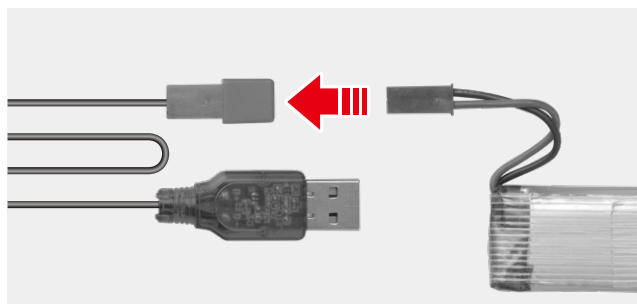
※電池の残量が不足すると誤作動したり、飛行状態が悪くなりますので、新しい乾電池と交換したり、充電し直してください。

リチウムイオン充電電池を充電する

※充電にはパソコンのUSBコネクタが必要です。

充電時間：約50分

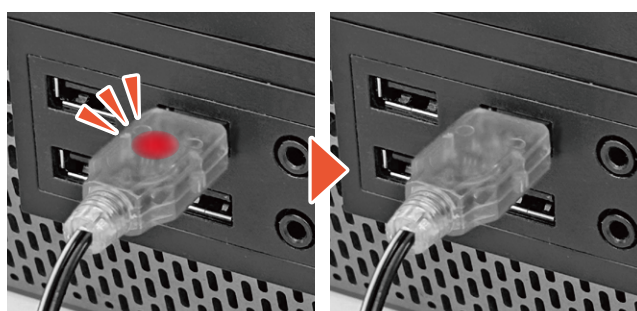
必ずドローン本体のLEDがすべて消えて電源がOFFになっていることを確認してください。
ONのままになっていると誤ってプロペラが回転する恐れがあります。



- ①付属の専用USB充電ケーブルを袋から取り出し、リチウムイオン充電電池のコネクタに接続します。ケーブルを接続するときにはケーブルの裏表にご確認ください。



- ③青いリチウムイオン充電電池カバーを開け、ドローン本体側のケーブルを取り出します。ドローン本体側のケーブルと、満充電のリチウムイオン充電電池のコネクタを接続します。ケーブルを接続するときにはケーブルの裏表にご確認ください。接続したらリチウムイオン充電電池をドローン本体にしまい、青いリチウムイオン充電電池カバーをカチッと音がなるまで閉じてください。



- ②お使いのパソコンの電源スイッチをONにして、USB充電ケーブルをUSBコネクタに接続します。充電中はUSB充電ケーブルのランプが赤色に点灯し、充電ランプが消灯すると充電完了です。

※リチウムイオン充電電池が消耗していないときは、50分より短い時間で充電が完了します。
※充電時間はあくまでも目安です。使用状況などによって異なります。

※リチウムイオン充電電池は特性上、充放電に回数制限があります。「キャリングドローンCD01」のリチウムイオン充電電池は約100回が充放電の回数制限となります。充電の回数が100回を超えると満充電時に使用できる時間が少しずつ短くなっていきます。一例：約200回繰り返して充電した場合、新品購入時の約50%となります。

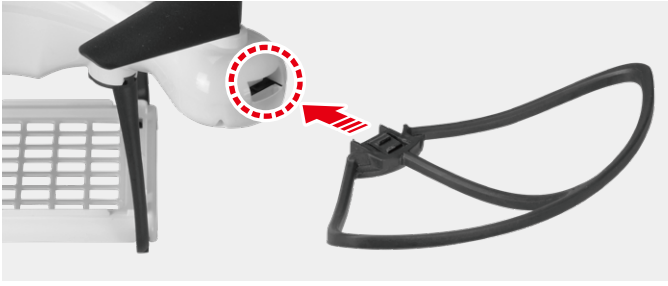
⚠ 充電をする前に必ずお読みください

- ❗ 充電は必ず保護者の方が行うようにしてください。
- ⊗ **パソコン以外では絶対に充電しないでください。**
- ❗ 充電は、必ず目の届くまわりに燃えやすいものがないところでおこない、本体と専用USB充電ケーブルに異常がないことをつねに確認してください。
- ⊗ **市販のUSB用ACアダプタ、USBハブは使用しないでください。**
- ❗ 専用USB充電ケーブルは、必ずパソコンのUSBコネクタに接続してください。
- ❗ 充電完了後は、専用充電電池と専用USB充電ケーブルとパソコンを接続した状態で放置せず、必ず取り外してください。
- ❗ 充電完了後はパソコンの電源をOFFにしてください。
- ❗ 使用後、再充電するときは、必ず15分以上の時間を置いてください。
- ❗ 充電中に下記の異常がおきたときは、すぐにパソコンに接続している専用USB充電ケーブルを取り外してください。
 - 50分以上充電しても専用USB充電ケーブルの充電ランプが点灯しない
 - リチウムイオン充電電池本体がふくらんだ
 - 異臭がする • 煙が出ている • 異常に熱い
- ❗ 充電時間は目安です。電池が消耗していない場合は50分より短い時間で充電が完了します。

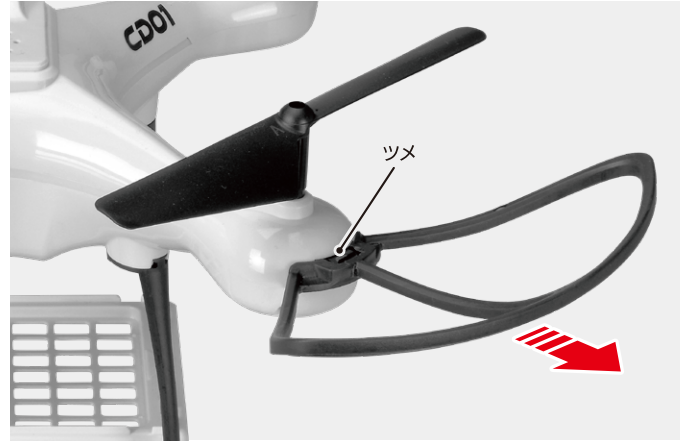
⚠ リチウムイオン充電電池の注意事項

- ⊗ **乳幼児や動物・ペットのそばに放置しないでください。**
- ❗ 噛む等によって電池が破損し、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ⊗ **充電電池に釘を刺したり、踏みつけたりしないでください。**
- ❗ 保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ⊗ **火気のそばに置かない、火中に投入しないでください。**
- ❗ 充電電池が加熱されると、液漏れ、破裂、発火などが起こる場合があります。また、ストーブのそば、炎天下の自動車の車内など高温になる場所にも放置しないでください。
- ⊗ **電子レンジなどに入れたり電磁調理器の上に置かないでください。**
- ❗ 誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ❗ 組み込まれている保護回路が壊れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ⊗ **液体で濡らさないでください。**
- ❗ 異臭や発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた時は使用を中止してください。また、充電電池が膨れていると感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

本体にプロペラガードを取り付ける



- ①袋から4つのプロペラガードを取り出し、本体の穴に差し込みます。カチッという音が鳴るまで差し込んでください。4つのプロペラガードを全て差し込んでください。



- ③プロペラガードを外すときは、プロペラガードについているツメを指で押し込んでからプロペラガードを抜くようにしてください。



- ②プロペラガードがしっかりと取り付けられていることを確認してください。遊んでいる最中にガードが外れてしまうとプロペラがむき出しになりますので大変危険です。

本体にランディングギアとキャリングパレットを取り付ける



- ①袋から2つのランディングギアを取り出し、ランディングギアのでっぱりを、本体裏面の溝にスライドさせて取り付けます。ランディングギアを無理にひねったり、曲げたりするとランディングギアが折れたり切れたりすることがありますのでご注意ください。



- ③ランディングギアを2つとも取り付けたら、キャリングパレットを取り付けます。キャリングパレットのツメがランディングギアに引っかかるようにカチッと音がするまで押し込んでおはめてください。



- ②ランディングギアを2つとも、しっかりと取り付けられていることを確認してください。遊んでいる最中にランディングギアが外れてしまうとドローンの離着陸できなくなります。

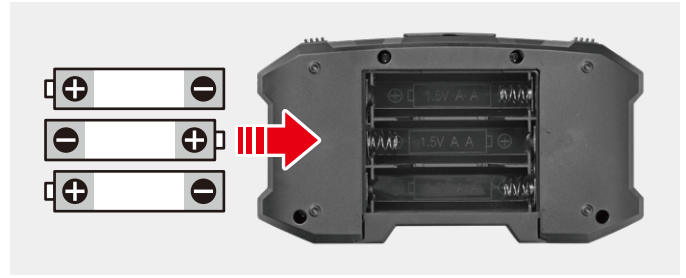


- ④キャリングパレットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。飛行中に、壁や床にドローンがぶつかって外れた際は、再び取り付けてください。

コントローラーに電池をセットする



①コントローラーの電源ランプが消えていることを確認します。



③単3乾電池3本を、＋（プラスマイナス）がイラストと同じようになるようにセットします。



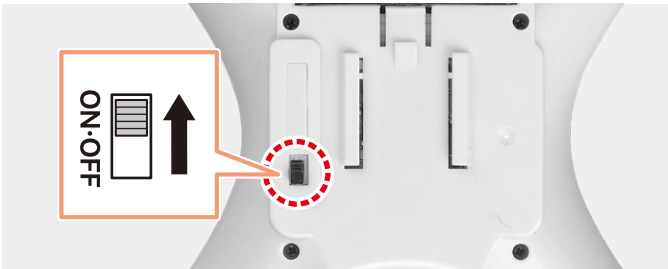
②コントローラー裏面の電池カバーを矢印の方向にスライドさせて、電池カバーを外します。



④電池カバーを取り付け、矢印の方向にスライドさせて閉めます。

ドローン本体とのペアリング調整

- ペアリングとは、ドローン本体とコントローラーを相互認識設定させることです。
- ペアリングしないとドローン本体を操作することはできません。
- ドローン本体が複数台ある場合は、ドローン本体とコントローラーを1セットずつペアリングする必要があります。1つのコントローラーで複数のドローン本体を同時に操作することはできません。
- ペアリングするときは、必ずドローン本体を水平な床や机の上で行うようにしてください。



①ドローン本体裏面の電源スイッチをONにするとペアリング待機状態となり、LEDが点滅します。



②コントローラーの電源ボタンをONにし、左レバーを上1回、下1回倒すと、コントローラーとドローン本体のペアリングが自動的に行われます。ペアリングが完了すると「ピーッ!」と音が鳴ってドローン本体のLEDの点滅が止まります。

- ペアリングは必ずドローン本体の電源を先にオンにしてください。コントローラーの電源を既にONにしている場合は一旦コントローラーの電源をOFFにして、再度電源をONにしてください。
- ペアリングが完了しない場合は、ドローン本体とコントローラーの電源を全てOFFにし、最初からやり直してください。
- やり直してもペアリングしない場合は、ドローン本体の充電をし直し、コントローラーの乾電池を全て新品の乾電池に入れかえて再度試してください。

※ペアリングが完了するまでドローン本体のLEDは点滅し続けます。

長時間見続けると気分を害する恐れがあります。ご注意ください。

※ドローン本体の充電が減り続けますので、ペアリングしない、もしくはペアリングがうまくできない場合はドローン本体の電源をOFFにするようにしてください。

※ドローン本体の充電が少なくなってくると、ペアリングが完了してもドローン本体のLEDが点滅し続ける状態になります。この状態になると電池不足で機能が不安定になります。

ドローン本体とコントローラーの電源をOFFにして、ドローン本体を充電し直してください。

サウンドON/OFF



①ペアリング成功後、サウンドON/OFFボタンを押すと、ドローン本体からサウンドが流れます。



②ドローンを離陸させると自動的に、飛行中のサウンドに切り替わります。着陸すると離陸前のサウンドに自動的に戻ります。サウンドはいつでもON/OFFを切り替えられます。

ドローン本体の操作

コントローラー

周囲にぶつかる物や小さなお子様がないかどうか注意してください。
ドローン本体はエアコンや扇風機の風に影響されますので注意してください。
ドローン本体が天井や壁、物などに激しくぶつかった場合は危険防止のため強制的にモーターが停止します。

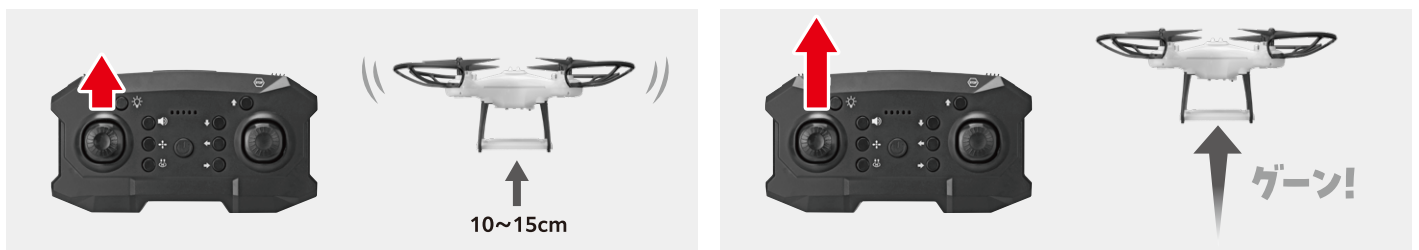
離陸/着陸(ワンプッシュ離陸/着陸)

まずはキャリアングパレットに荷物を積んでいない状態でドローン进行操作してみましょう。



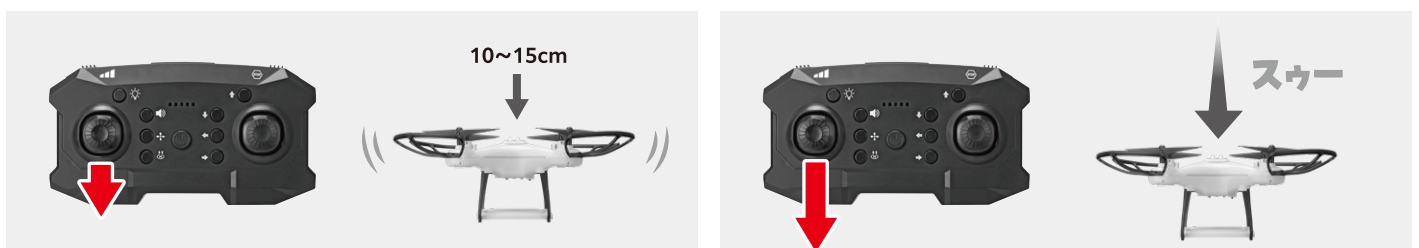
ワンプッシュ離陸/着陸ボタンを押すとドローン本体は自動で離陸します。
ドローン本体内部の気圧センサーによって、一定の高度を維持します。
もう一回ワンプッシュ離陸/着陸ボタンを押すとドローン本体は自動で着陸します。

上昇



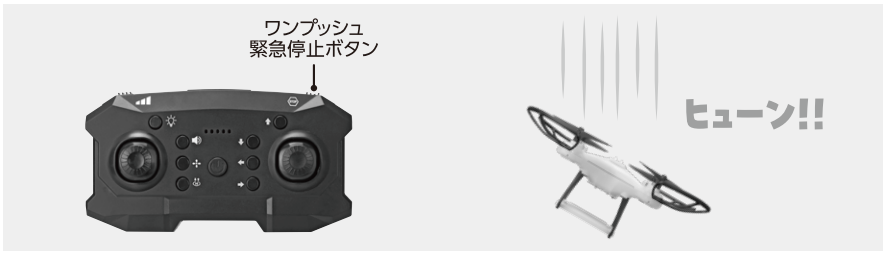
ドローン本体が離陸している状態で左レバーを更に上に倒すとドローン本体は10~15cmほど上昇します。
左レバーを上に戻し続けるとドローン本体は一気に上昇します。
※一気に上昇すると天井に激しくぶつかり、破損する可能性があります。必ず細かく少しずつ上昇するように操作してください。

下降(手動着陸)



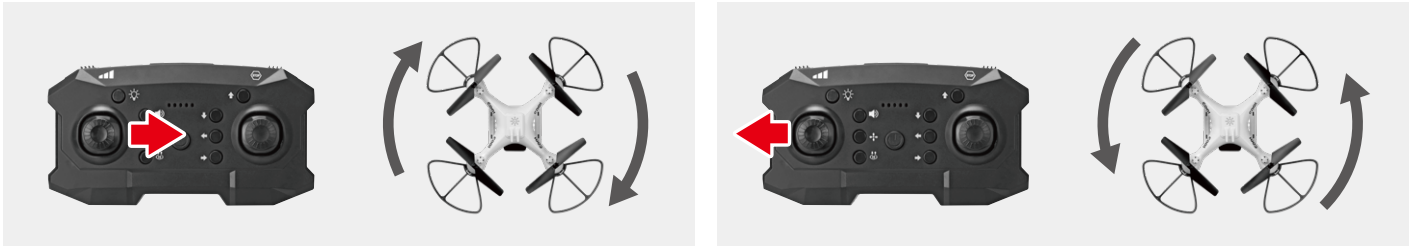
左レバーを下に戻すとドローン本体は10~15cmほど下降します。下に倒し続けるとドローン本体は一気に下降します。
床に着くと自動的に着陸したと判断し、モーターが停止します。
※一気に下降すると床に激しくぶつかり、破損する可能性があります。必ず細かく少しずつ下降するように操作してください。

緊急停止(ワンプッシュ緊急停止)



ワンプッシュ緊急停止ボタンを1秒以上押し続けると、強制でモーターが停止し、ドローン本体が落下します。
人や物にぶつかりそうになった場合は、すぐにワンプッシュ緊急停止ボタンを押してください。

右/左回転



右レバーを右に倒すとドローン本体は右に回転します。左レバーを左に倒すとドローン本体は左に回転します。
上昇や下降と同じく、右/左に倒し続けるとドローン本体は回転し続けます。

前進/後進/右移動/左移動

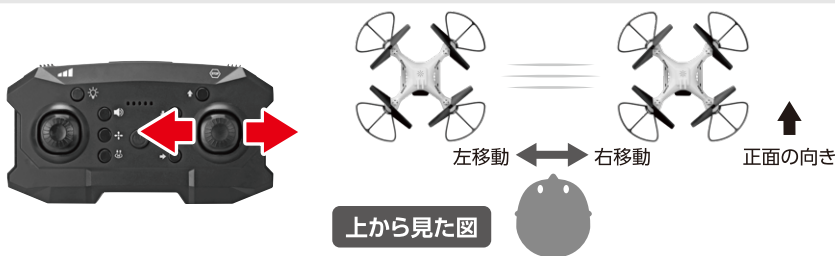
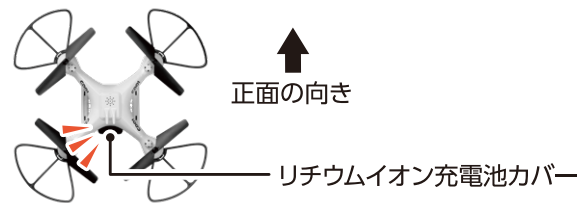


右レバーを上倒すとドローン本体は前進、下倒すと後進、右に倒すと右移動、左に倒すと左移動します。
上昇や下降と同じく、倒し続けるとドローン本体は一気に移動します。

※一気に移動すると壁や物に激しくぶつかり、破損する可能性があります。必ず細かく少しづつ移動するように操作してください。

ドローンを上手に飛ばすコツ

青いリチウムイオン充電電池カバーがあるほうがドローンの後ろになります。



自分の前にドローン本体をおいて、青いリチウムイオン充電電池カバーがある方を後方にして飛行させると、位置関係が分かり、操作しやすくなります。
飛行中、正面を向いていないときは右/左回転させて向きを合わせてください。

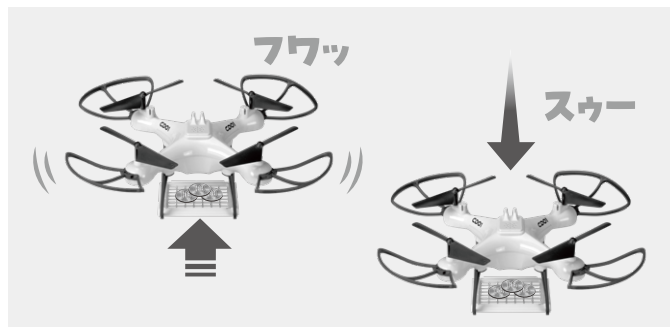


キャリングパレット(専用カゴ)に荷物を載せて飛行させよう

「キャリングドローンCD01」は**最大10g**までの荷物を載せて飛行することができます。



キャリングパレットに**最大10g**までの荷物を載せてワンプッシュ上昇/着陸ボタンを押します。
荷物が10gまでの場合は、ドローンは通常の上昇と同じく、一定の高度まで自動的に上昇します。



10g以上の荷物を絶対に載せて飛行しないでください。
10g以上の荷物の場合は、上昇しようとしてますが、重量オーバーを自動的に感知し、ドローン本体のLEDが点灯し、強制的に着陸します。

ただし、10g以上の荷物を載せて飛行すると、ドローンのモーターに深刻なダメージを与えます。(モーターのダメージは復帰/回復しません)モーターのダメージは蓄積され、一定値を超えるとモーターは破損してしまいます。

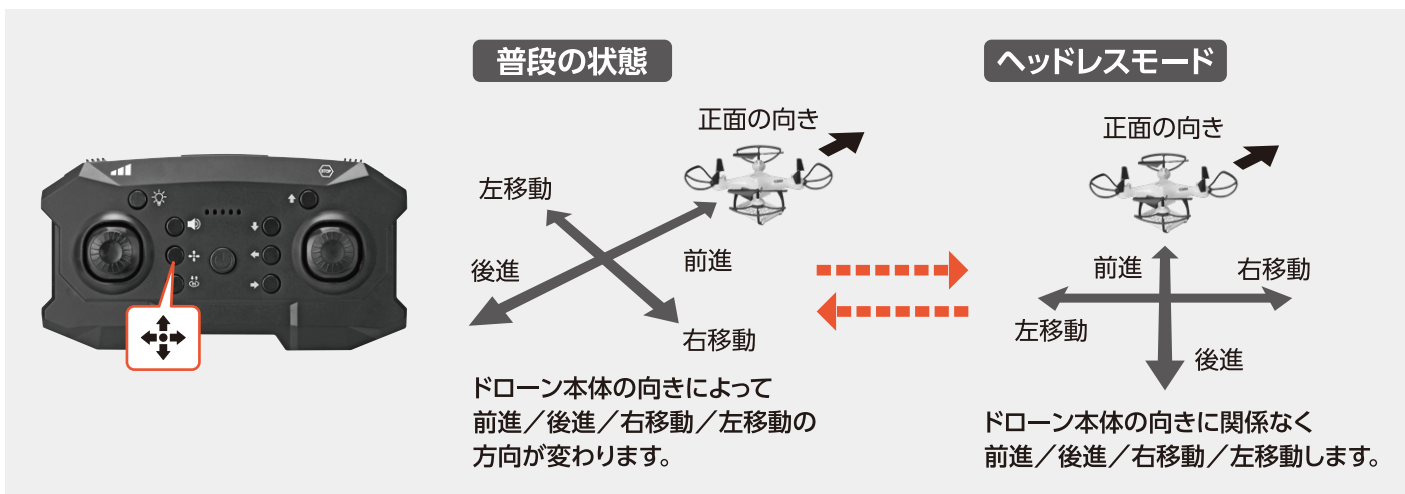
スピード切り替え



スピード切り替えボタンを押すと、3段階のスピード調整ができます。
1段階目(低速):最初の状態です。
2段階目(中速):スピード切替ボタンを1回押すと「ピピ!」と音が鳴り、少し早く飛ぶようになります。
3段階目(高速):スピード切替ボタンをもう1回押すと「ピピピ!」と音が鳴り、さらにもう少し早く飛ぶようになります。

※スピード切り替えボタンをもう1回押すと「ピ!」と音が鳴り、1段階目(低速)に戻ります。

ヘッドレスモードボタン



離陸中にヘッドレスモードボタンを押すと、ドローン本体の向きに関係なく、前進/後進/右移動/左移動ができるようになります。ヘッドレスモード中はサウンドが流れます。もう一度ヘッドレスモードボタンを押すと元に戻ります。

フライト調整

ドローン本体を操作中に、エアコンや扇風機などの風の影響とは別に、勝手に移動してしまうときは、フライト調整をしてください。



- ↑ ●ドローン本体が後進してしまうとき：上フライト調整ボタンで調整します。
- ↓ ●ドローン本体が前進してしまうとき：下フライト調整ボタンで調整します。
- ← ●ドローン本体が右移動してしまうとき：左フライト調整ボタンで調整します。
- ●ドローン本体が左移動してしまうとき：右フライト調整ボタンで調整します。

LED ON/OFF

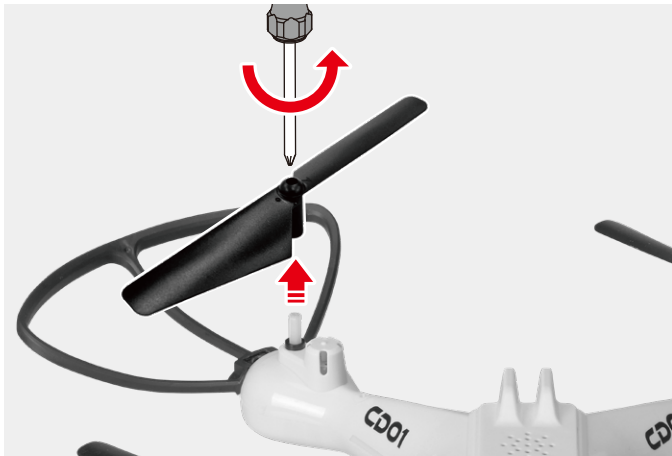


LED ON/OFFボタンを押すとドローン本体のLEDを消灯/点灯できます。
1回押すとLEDがOFF(消灯)になります。もう1回押すとLEDがON(点灯)になります。

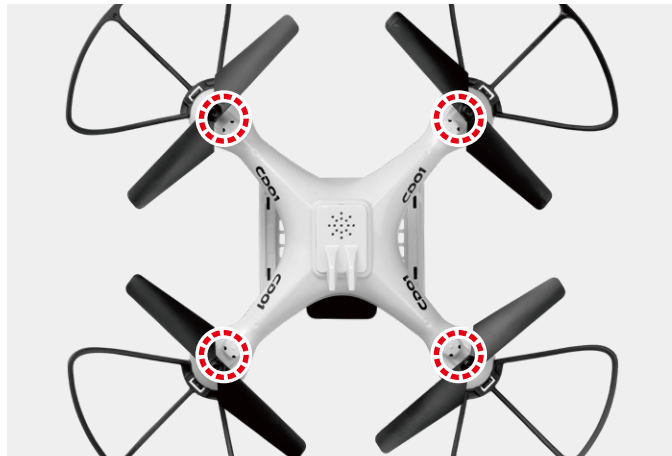
プロペラの交換

プロペラが破損、変形してしまった場合、正しい飛行ができなくなります。
その場合は予備のプロペラに付け替えてください。

❗ プロペラ交換は必ずドローン本体とコントローラーの電源を切ってから行うようにしてください。

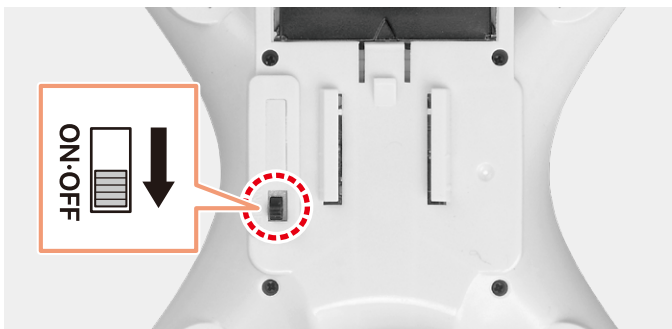


①ドライバーでねじをゆるめ、破損、変形したプロペラを取り外します。予備プロペラに交換したら、必ずねじを締めてください。しっかりとプロペラが取り付けられていないと正常に飛行できなくなります。
プロペラを交換するときは必ず保護者の方に交換してもらうようにしてください。



②ドローン本体のプロペラの近くに「A」「B」と記載されています。プロペラ自体にも「A」「B」と記載されています。Aの場所には必ずAのプロペラを取り付けてください。Bの場所には必ずBのプロペラを取り付けてください。間違った場所にプロペラを取り付けると正常に飛行できなくなります。

遊んだ後は…



①ドローン本体裏面の電源スイッチをOFFにすると、ドローン本体のLEDが消灯します。



②コントローラーの電源ボタンを押すと電源ランプが消灯し、コントローラーが電源OFFになります。

保管するときの注意事項

- ❗ 遊び終わった後は必ず本体とコントローラーの電源スイッチをOFFにしてください。ONにした状態のままだと電池の消耗が早くなります。
- ❗ 「キャリングドローンCD01」本体を遊んでいないときは、プロペラに髪の毛やほこりなどの異物が絡まない状態で保管してください。

- ❗ 火や水の近く、直射日光が強く当たる高温多湿の場所、車の中での保管は絶対にやめてください。故障や発火、加熱の原因となります。
- ❗ 保管するときはリチウムイオン充電電池と専用USB充電ケーブルを接続したままにしないでください。

❗ 「キャリングドローンCD01」がうまく飛行しない場合は、故障かなと思う前に下記のQ&Aをお読みください。

Q：「キャリングドローンCD01」が動かない／動かなくなった(電池の可能性)

A：リチウムイオン充電機が電池不足になると、「キャリングドローンCD01」の動作が不安定になったり、動かなくなったりします。

- ペアリングはするが上昇しようとするときペアリングが切れて飛ばない。
- 上昇するがしばらくすると勝手にペアリングが切れて落下する。

このような症状はリチウムイオン充電機の電池不足が原因の可能性がります。
リチウムイオン充電機を「キャリングドローンCD01」から取り外し、
リチウムイオン充電機の再充電を行ってください。

Q：満充電にしたのに飛行時間が短くなった(充電機の可能性)

A：リチウムイオン充電機は特性上、充放電に回数制限があります。
充電を繰り返すことで徐々に満充電時に使用できる時間(飛行時間)が短くなっていきます。
一定の回数を超えると、充電ができなくなる、もしくは、満充電になっているはずなのにドローンにつなげても飛ばない(飛んでもすぐに落ちる)、ということが発生します。
リチウムイオン充電機を個別に購入したい場合は、ハピネットお客様相談窓口にご連絡ください。

Q：リチウムイオン充電機の充電が終わらない

A：リチウムイオン充電機の充電時間は約50分です。充電が完了すると専用USB充電ケーブルのランプが消灯します。
充電がいつまでも終わらない場合は、リチウムイオン充電機が何かしらの理由で破損しているか、
もしくは寿命の可能性がります。
また、リチウムイオン充電機は半年に一度は充電してください。長期間使用しないと、リチウムイオン充電機の特性上、充電できなくなる可能性があります。
リチウムイオン充電機を個別に購入したい場合は、ハピネットお客様相談窓口にご連絡ください。

Q：飛行中、勝手に右や左に動いてしまう(風の影響)

A：「キャリングドローンCD01」は非常に軽い構造のため、風の影響を受けて思わぬ方向に流れてしまうことがあります。
エアコンや扇風機の影響をうけますので、気を付けて動かしてください。

Q：プロペラが壊れてしまった

A：高所から落下させたり壁に激しい勢いでぶつけてしまった場合、プロペラが破損する可能性があります。
本商品には予備プロペラが1セット同梱されています。「プロペラの交換」をよく読んで、プロペラの交換を行ってください。

Q：プロペラガードが変形してしまった

A：高所から落下させたり壁に激しい勢いでぶつけてしまった場合、プロペラガードが変形してしまう可能性があります。
その場合は、ガードを「キャリングドローンCD01」から取り外し、手で直してみてください。
プロペラガードはプロペラの破損を防ぐことを目的とした部品です。
ご使用の際、本体に衝撃が加わると、ガードの一部が折れたり切れたりしてしまう可能性があります。
ガードが破損してもキャリングドローンCD01の飛行に影響を及ぼすものではありませんので、引き続き使用してください。

Q：プロペラガードが破損してしまった

A：高所から落下させたり壁に激しい勢いでぶつけてしまった場合、プロペラガードの一部が切れたり折れてしまう可能性があります。
プロペラガード自体は「キャリングドローンCD01」の飛行に影響を及ぼすものではありませんが、プロペラガードの一部が切れたり折れたりして本体の飛行に影響を及ぼす場合は、プロペラガードを「キャリングドローンCD01」から取り外し、
手で直してみてください。
それでも復帰できない場合はハピネットお客様相談窓口から、プロペラガードの修理・交換をご検討ください。

Q：場所によって飛ばなかったり飛行がおかしくなることがある(電波干渉)

A：本商品は2.4ギガヘルツ周波数帯という電波で「キャリングドローンCD01」とコントローラーを操作しています。
2.4ギガヘルツ周波数は外部の環境によって、電波干渉が起これ、うまく飛ばなくなる場合があります。
ご家庭の電子レンジや大型テレビ、無線LAN(Wi-Fi等)といった電磁波を有する機器のすぐ近くの場合、電波と混線し、
突然止まったり、動いたりすることがあります。
そのような場合は、「キャリングドローンCD01」とコントローラーの両方の電源をいったん切り、場所を変えてから、
「キャリングドローンCD01」とコントローラーの電源を再度入れ直してください。

Q：リチウムイオン充電機の廃棄方法を詳しく知りたい

A：「キャリングドローンCD01」で使用されているリチウムイオン充電機はリサイクル可能なリチウムイオンポリマー電池を使用しています。
お近くのホームセンターや家電量販店、大型スーパー、自治体の施設などに設置されている回収ボックス(リサイクルボックス等)に入れて処分してください。
回収ボックスが近くに無い場合は、「リチウムイオン充電機を廃棄するときには(リサイクルのお願い)」をよく読んで、同梱された「リチウムイオン充電機返信用封筒」にて弊社にお送りください。

それでも動作がおかしい場合は、下記の「ハピネットお客様相談窓口」にご連絡ください。

●修理、交換の手順

お客様相談窓口からの受付となります。
お電話にて修理のご希望をお伝えの上、
オペレーターの指示に従い修理品をご発送ください。

ハピネットお客様相談窓口 **0120-755-995**

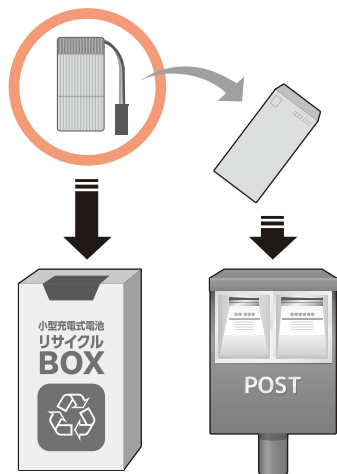
電話受付時間：月～金(土日祝日を除く) 10:00～17:00
番号はご確認のうえ、お間違いのないようご注意ください。

以下のような場合は修理、交換が対応しかねる可能性があります。

- 「キャリングドローンCD01」のリチウムイオン充電電池は、パソコンでの充電を推奨しています。
市販の充電器で充電して不良が発生した場合は、修理・交換ができない可能性があります。
- プロペラガードはドローンのプロペラをガードするパーツです。
飛行中、天井や壁などに強くぶつかることでプロペラガード自体が傷ついたり一部破損
したりする可能性があります。プロペラガードだけの破損であれば飛行に影響はありません。
飛行中によるプロペラガードの破損は、修理・交換ができない可能性があります。



リチウムイオン充電電池を廃棄するときには(リサイクルのお願い)



「キャリングドローンCD01」のリチウムイオン充電電池はリサイクル可能なリチウムイオンポリマー電池を使用しています。
貴重な資源として再利用するため、リサイクルにご協力ください。

廃棄するときは、自治体の廃棄処理の指示に従って廃棄するか、一部の家電店に設置されているリサイクルボックスに廃棄するか、付属している「リチウムイオン充電電池返信用封筒」に入れ、弊社にお送りください。

「リチウムイオン充電電池返信用封筒」は無料で一般の郵便ポストに投函できます。

キャリングドローン フィンテックドローン **CD01**
CARRYING DRONE

専用Webサイト

「キャリングドローンCD01」について
もっと知りたい人はここをクリック!

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。より安全でたのしいおもちゃをお届けするために、常に研究・調査・改良を行っております。お買い上げの時期によって、同一製品の中に多少の違いがある場合がありますのでご了承ください。なお、製品についてお気付きの点がございましたら、お手数ですが、ハピネットお客様相談窓口までご連絡くださいますようお願いいたします。